

# 第5回 鳴門市地域公共交通活性化協議会

## 議 事 録

日時：令和5年2月10日（金）10:00～11:00

場所：うずしお会館2階 第2会議室

## 出席者名簿

【敬称略】

所属	氏名	区分	備考
徳島県東部県土整備局鳴門庁舎副局長	秋田 裕二	道路管理者 港湾管理者	監事
徳島バス（株）営業部副部長	東 孝行	公共交通事業者等	
国土交通省四国運輸局徳島運輸支局首席運輸企画専門官	賀出 晴美	その他鳴門市が必要と認める者	
鳴門市幼小中PTA連合会長	樺山 賢太郎	公共交通利用者	欠席
国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所徳島国道出張所長	萱原 一朗	道路管理者 港湾管理者	欠席
鳴門市政策監	小泉 憲司	鳴門市	
徳島県鳴門警察署交通課長	住友 貴志	公安委員会	欠席
鳴門市副市長	谷 重幸	鳴門市	会長
鳴門市自治振興連合会監事	田村 豊	公共交通利用者	
徳島県タクシー協会（鳴門第一タクシー（有）取締役）	長尾 春代	公共交通事業者等	
（一社）徳島県バス協会専務理事	長谷部 一喜	公共交通事業者等	
鳴門市社会福祉協議会長	藤村 松男	公共交通利用者	
鳴門市老人クラブ連合会副会長	前田 ユキ子	公共交通利用者	
徳島バス労働組合委員長	松本 忠宏	公共交通事業者等	欠席
徳島県県土整備部次世代交通課課長補佐	宮島 崇	その他鳴門市が必要と認める者	監事
徳島大学大学院教授	山中 英生	学識経験者	副会長
四国旅客鉄道株式会社徳島企画部長	山本 仁志	その他鳴門市が必要と認める者	
国土交通省四国運輸局徳島運輸支局首席運輸企画専門官	山本 美恵子	その他鳴門市が必要と認める者	
国土交通省四国運輸局交通政策部交通企画課課長	木村 圭佑	要綱第8条第5項の規定に基づく出席者	欠席 オブザーバー

# 委員会概要

1. 開会
2. 議事  
（1）鳴門市地域公共交通計画（案）について
3. 閉会



# 議 事 要 旨

10 時 00 分 開会

<p>1. 開会  鳴門市 企画総務部 戦略企画課より開会挨拶  ※事務局（鳴門市 企画総務部 戦略企画課）より配布資料の確認</p>	
発言者	要 旨
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度第5回鳴門市地域公共交通活性化協議会を開催したいと思います。</li> </ul>
<p>※事務局より委員等の欠席について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴門市幼小中 PTA 連合会会長 樺山賢太郎が欠席</li> <li>・国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所徳島国道出張所長 萱原一朗が欠席</li> <li>・徳島県鳴門警察署交通課長 住友貴志が欠席</li> <li>・徳島バス労働組合委員長 松本忠宏が欠席</li> <li>・国土交通省四国運輸局交通政策部交通企画課課長（オブザーバー） 木村圭佑が欠席</li> </ul>	
<p>2. 議事  (1) 鳴門市地域公共交通計画（案）について  ※事務局より説明(略)</p>	
発言者	要 旨
山中副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P. 75 について高齢者割引について総合的に考えていくとのことでしたが、もう少し踏み込んで考えられることを整理されてもよいのかと思います。高齢者だけではなく、障がい者や子ども、観光客なども考えられるかと思います。それ以外では、休日割引、ファミリー割引、昼間割引などの対策が色々な地域で導入されていますので、鳴門市として考えられるものを整理されたらよいかと思います。</li> <li>・KPI で収支率を示されていますが、高齢者の移動手段としてどれくらいの公的な投資がされているのかなどの方が指標として分かりやすいかと思います。利用者数や人口あたりの公的負担額でもよいので、そのような数字を実施計画にでも計画本編にでも入れていただけたらと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P. 75 については様々な事例を踏まえながら検討させていただきます。</li> <li>・KPI につきましても、今後計画に基づいて事業を推進していく中で利用者あたりの公的負担額は参考となる数字と考えておりますので、何らかの形でお示ししたいと思います。</li> </ul>
藤村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2のP. 20に島田渡船の利用者が最も少ないと書いてありますが、島田渡船とはどこを指しているのでしょうか。堂浦の渡船は多くの方が</li> </ul>

	<p>利用されているように思いますが、あそこが島田渡船ではないんですね。待ち時間が1時間25分もあるとのことですが大変不便です。最大半時間ほどにすれば利用者の方も助かるのではないかと思います。そのあたりはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>・計画書P.19に渡船の運航図を示しておりますが、島田渡船は右図の島田島と瀬戸小学校を繋ぐ渡船となっております。待ち時間については、計画の中で乗り継ぎの改善を課題として挙げておりますので今後検討させていただきたいと思います。</p>
藤村委員	<p>・北泊線は大きなバスが走っていますが、あれだけの大きさのバスが必要なのでしょうか。時間帯によっては多くの人が使われる場合もあるのかと思いますが考えていただきたいです。</p>
谷会長	<p>・徳島バス様、いかがでしょうか。</p>
東委員	<p>・バスのサイズですが、小型バスの方が大型バスより高く、使える年数も短いので、小型化することにより狭い道を走りやすいというメリットもありますが、費用面ではあまりよろしくないのではなかなか小型化できないという現状ではあります。</p>
藤村委員	<p>・市内循環バスの利用者の環境はいかがでしょうか。時間帯によってはある程度の方が使われていると思いますが利用者の意見はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>・計画書P.25に地域バスの利用状況をお示ししております。グラフ青線が市内循環線の利用状況となっておりますが、やはり令和元年、令和2年についてはコロナの影響もあって減少しております。令和3年については若干持ち直してきている状況ではありますがコロナ前までは戻っておりません。その中で、ご利用いただいている方のご意見としては、昨年度、各地区の支部会を回ってご意見をうかがったところ、「反対方向に回れないのか」、「もっと範囲を広げられないのか」というようなご意見もありましたが、現在パターンダイヤで運行しておりいつ乗れるかも分かるということで概ね好評な評価をいただいていると認識しております。</p>
藤村委員	<p>・利用者の方は非常に助かっていると思います。色々な意見を踏まえながら（引き続き運行を）よろしく願いいたします。</p>
谷会長	<p>・ありがとうございました。それでは、これまで委員の皆様からいただいた意見を基に鳴門市地域公共交通計画（案）を修正することとし、修正については会長と副会長にご一任いただき、修正した案を「成案」として承認してよろしいでしょうか。</p>

3. 閉会	
発言者	要 旨
谷会長	・以上で本日予定しておりました議事は終了いたしました。事務局から何か連絡事項がございましたらお願いいたします。
宮島委員	※宮島委員より『公共交通利用促進「リレー」シンポジウム』について説明（略）
事務局	・今回いただいたご意見を踏まえ、最終案について3月下旬頃に書面会議を予定しております。
谷会長	・次回の日程につきましては、3月下旬頃に書面会議により開催したいということでございます。議題内容につきましては、「令和5年度予算案及び事業計画案について」でありますので、書面による審議となりますが、委員皆様におかれましてはご審議をよろしくお願いいたします。 ・それでは、以上をもちまして第4回鳴門市地域公共交通活性化協議会を閉会といたしますが、閉会にあたりまして、会長として一言挨拶を申し上げます。 ※会長より挨拶（略）
事務局	・以上をもちまして、令和4年度第4回鳴門市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

11時00分 閉会